

平成28年度

市政モニターアンケート調査結果
【 中央卸売市場の認知度について 】



長 崎 市
中央卸売市場

1. 調査の目的

長崎市中央卸売市場には、毎日の生活に欠くことができない野菜や果物を、安全・安心に安定した価格で供給するという大切な役割があります。

このことを市民の皆さまに知っていただきたいということから、平成 25 年度から「青果まつり」や「朝市」を開催しています。

今回の調査は、市民の皆さまの青果物の主な購入先や中央卸売市場が開催しているイベントの認知度を把握することで、今後の中央卸売市場を経由した青果物の販売促進や市場開放に向けた取り組みの参考にすることを目的としています。

2. 調査の概要

調査期間：平成 28 年 8 月 22 日 ～ 平成 28 年 9 月 5 日

送付数：214 人（郵送モニター 174 人 インターネットモニター 40 人）

回答率：78%（167 人）

（郵送モニター 149 人 インターネットモニター 18 人）

3. 調査結果

今回の調査を通して、中央卸売市場の役割として、安心・安全な青果物の供給という点に関しては、市民の皆さまの認知度がやや低いことが分かりました。

現在、中央卸売市場を経由した青果物を取り扱う販売店に「安心・安全」を PR した「長崎市場直送の店」ののぼりを掲げる取り組みを行っていますが、今回の調査結果から、さらに効果的な取り組みを実施する必要があると考えます。

また、「青果まつり」や「朝市」の認知度に関しても、かなり低いことが分かりました。

一方で、「青果物を安く販売してほしい」という意見や、「市民参加型のイベントを開催してほしい」という意見が多く、青果物の購入やイベントに対する関心が高い傾向がありました。

まずは、市場に足を運んでいただけるよう、広報紙、ホームページ等でイベントの周知徹底を図るとともに、さまざまな機会を通じ、中央卸売市場を経由した青果物の魅力を伝えることに取り組んでまいります。

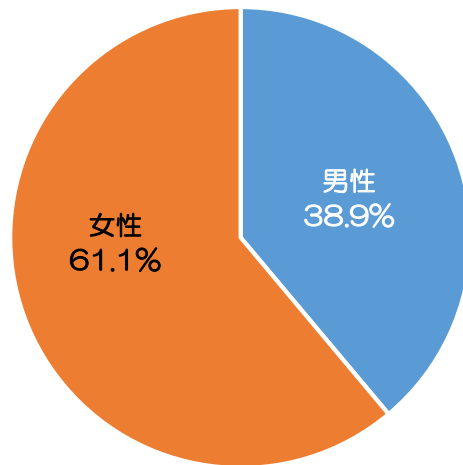
4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第 2 位を四捨五入して、小数点第 1 位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても 100%に合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が 100%を上回る場合があります。

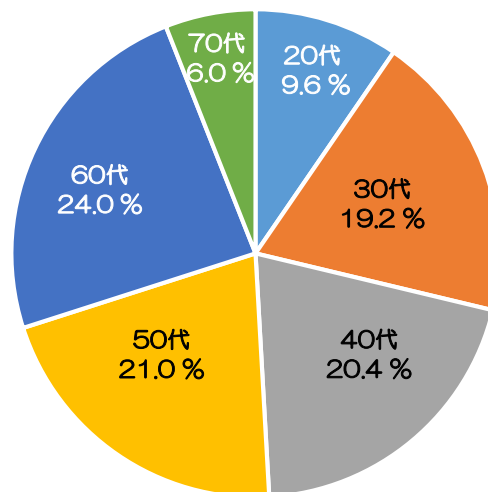
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	65人	38.9%
女性	102人	61.1%
合計	167人	100.0%



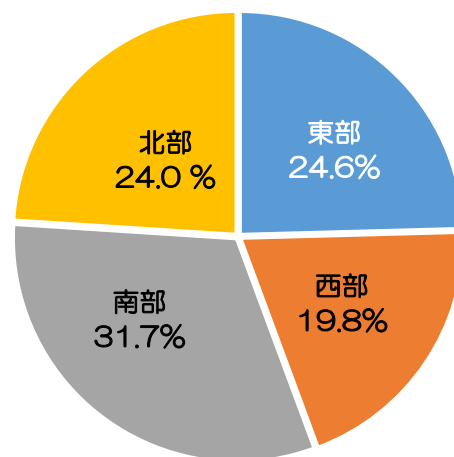
問2 あなたの年齢を選択して下さい。

選択肢	回答者数	割合
20代	16人	9.6%
30代	32人	19.2%
40代	34人	20.4%
50代	35人	21.0%
60代	40人	24.0%
70代	10人	6.0%
合計	167人	100.0%



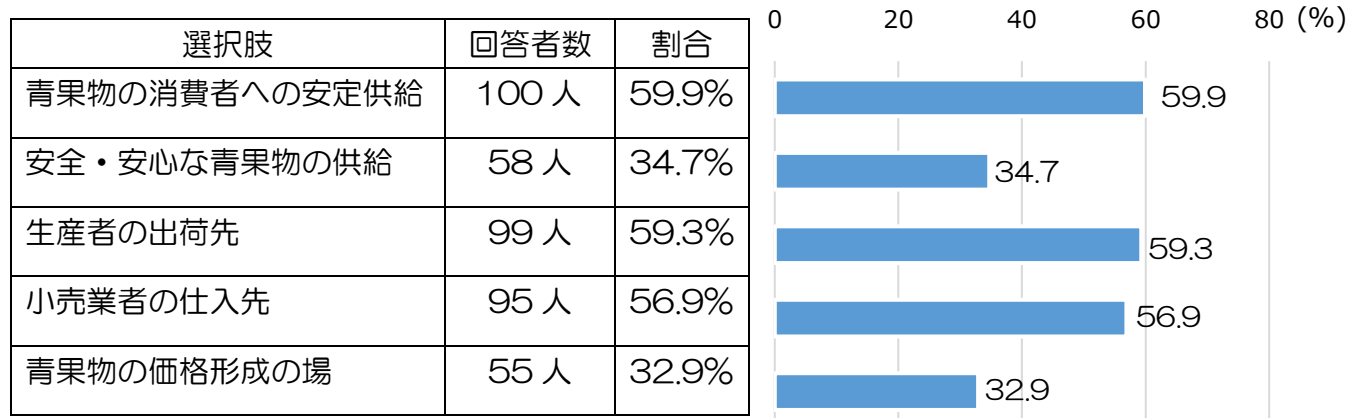
問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	41人	24.6%
西部	33人	19.8%
南部	53人	31.7%
北部	40人	24.0%
合計	167人	100.0%



※ ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

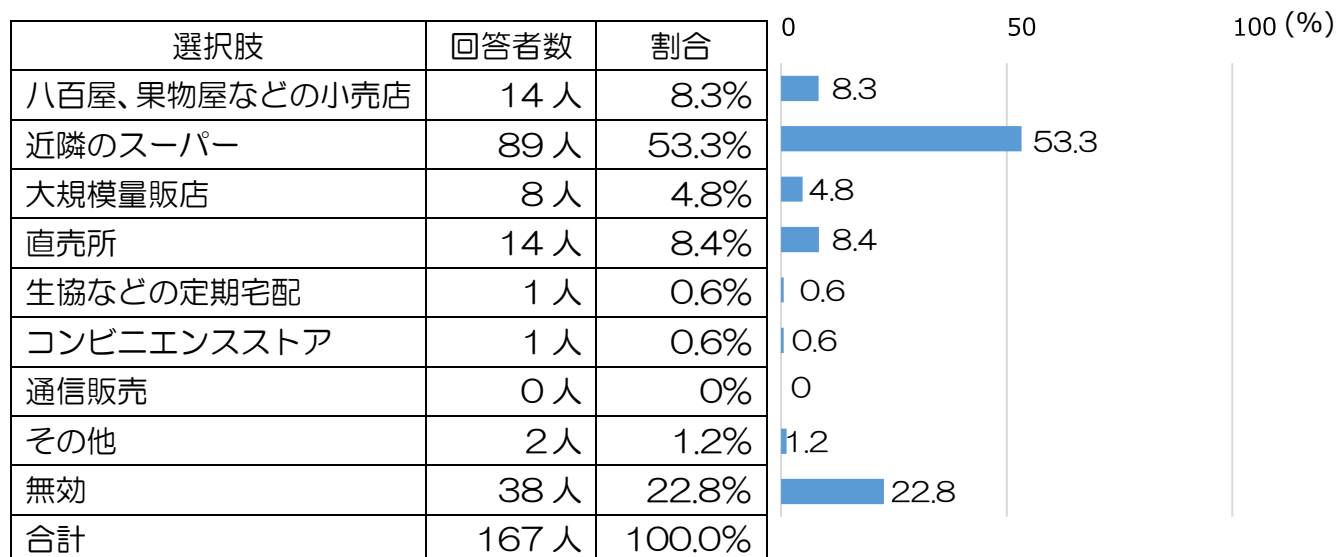
問 12 長崎市中央卸売市場の主な役割や機能について、知っている項目を選んでください。
 (複数回答可)



中央卸売市場の役割や機能として知られている項目の割合は、「青果物の消費者への安定供給」が 59.9%、「生産者の出荷先」が 59.3%、「小売業者の仕入先」が 56.9%と上位を占めました。このことから、市民の皆さまに中央卸売市場の役割について一定のご理解をいただいているということが分かりました。

一方、「安全・安心な青果物の供給」の割合が 34.7%と割合が低かったことから、今後、「青果まつり」や「朝市」のイベント等で安全・安心面について積極的に周知していく必要があると考えます。

問 13 青果物を購入する場合、1番利用が多い購入先はどこですか。

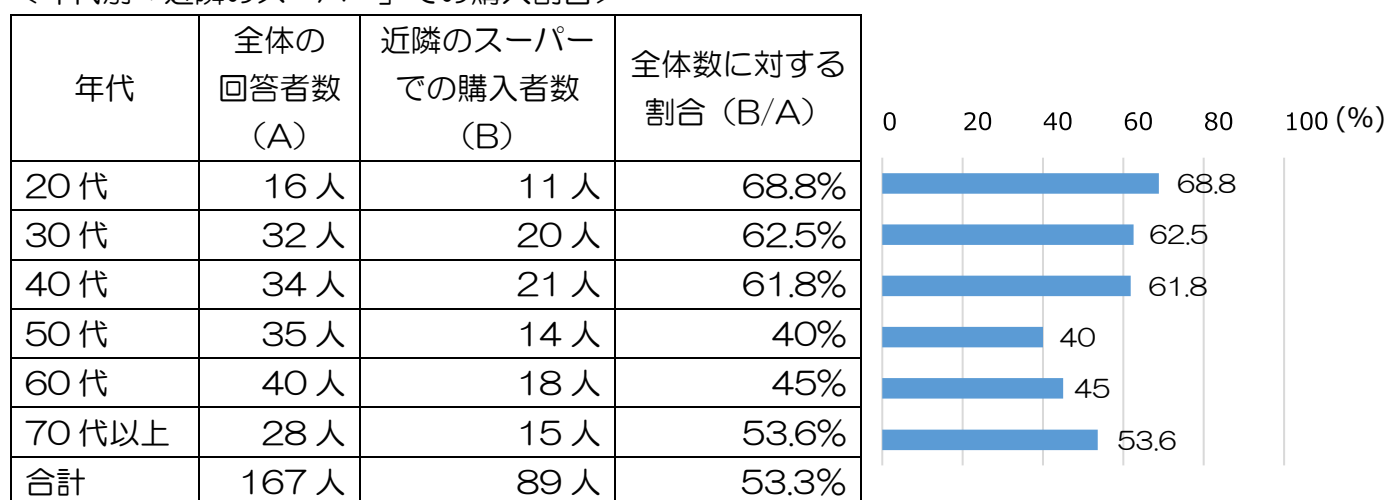


【その他の回答】

- ・道の駅、大地のめぐみ

注) 択一式の設問であったため、複数選択していただいた回答は、無効としております。

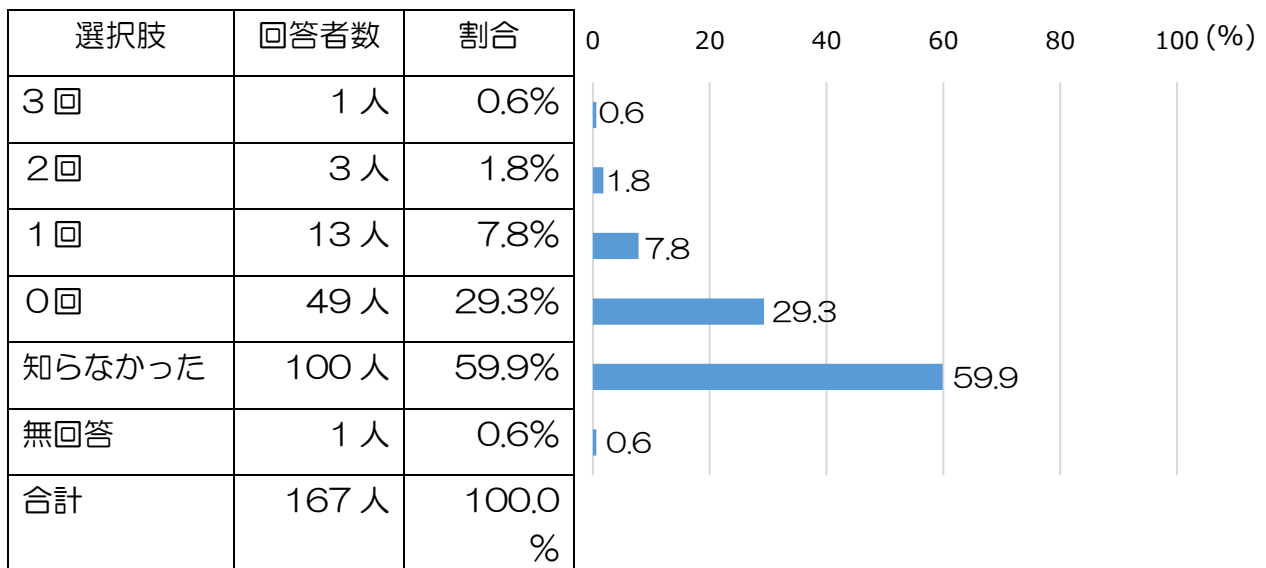
<年代別「近隣のスーパー」での購入割合>



青果物の1番多い購入先として、「近隣のスーパー」が53.3%と最も高くなりました。

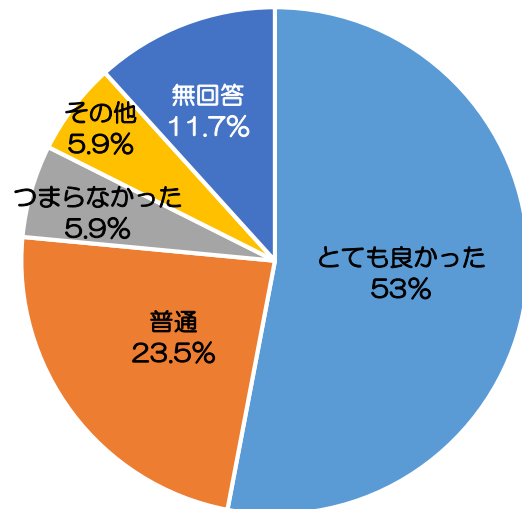
それぞれの年代において、「近隣のスーパー」と答えたかたの割合は、40代までは、60%を超えていますが、それ以上の年代のかたの割合が少なくなっており、若い方ほど「近隣のスーパー」を利用していること分かりました。

問 14 長崎市中央卸市場では 11 月に「青果まつり」を開催しています。これまで「青果まつり」に行ったことがありますか？



問 15 問 14 で「青果まつり」に 1 回でも行ったことがあるとお答えのかたにお尋ねします。
「青果まつり」のご感想をお聞かせください。

選択肢	回答者数	割合
とても良かった	9 人	53.0%
普通	4 人	23.5%
つまらなかった	1 人	5.9%
その他	1 人	5.9%
無回答	2 人	11.8%
合計	17 人	100.0%



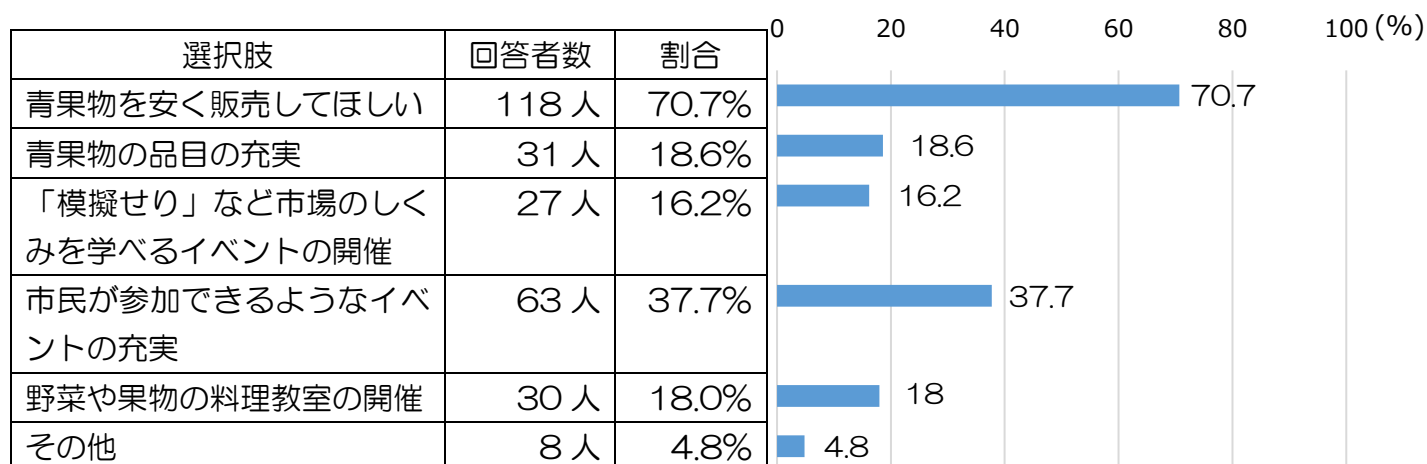
【その他の回答】

- 品数、量が少なかった。

行ったことがあるかたの過半数が「とても良かった」と答えていただきました。

しかしながら、「青果まつり」は毎回たくさんの方（約 15,000 人）に来ていただいておりますが、「知らなかった」と答えたかたが約 60%おり、まだまだ周知不足であることが分かりました。今後さらに周知を図り、より多くの市民の皆さまに気軽に来場していただき、また来たいと思っただけのような取り組みを考えていきます。

問 16 今後の「青果まつり」の内容について、どのようなことを期待しますか。(複数回答可)



【その他の回答】

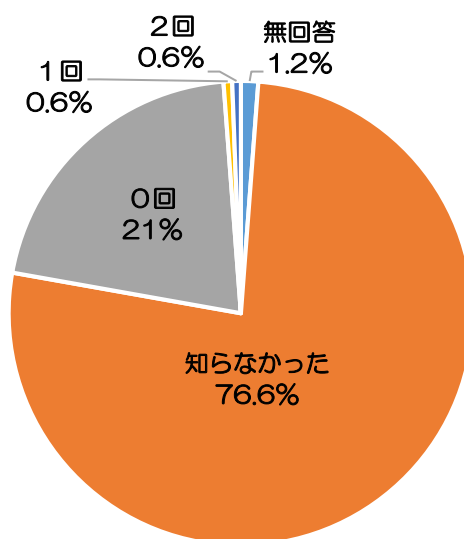
- 長崎駅前や大波止広場を利用したマルシェなどの開催
- 「模擬せり」を開催！！というPRだけでは内容が分からないので、別紙で説明した方が分かりやすく、参加したいとなるのではないのでしょうか？
- 著名人の講演
- 子どもを連れて行きたいので、クイズや野菜・果物の勉強ができる場をつくってほしい。
- 広告などでもっと知らせてほしい。
- 商品の特性をもっと知りたい。
- 青果まつりを知らなかった。多くの市民が「青果まつり」の存在を知り、参加するPR方法をどんどん企画してほしい。

「青果まつり」の内容について期待することは、「青果物を安く販売してほしい」が 70.7%で、最も高い割合となりました。

また、参加型のイベントの充実についても期待されていることが分かりました。

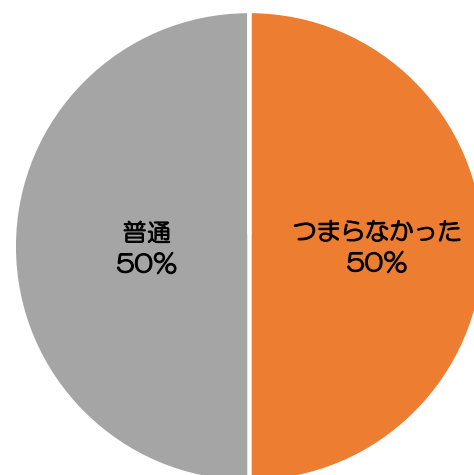
問 17 長崎市中央卸売市場では、毎月第2土曜日に関連商品売場棟で「朝市」を開催しています。平成27年4月以降、「朝市」に行ったことがありますか。

選択肢	回答者数	割合
ほぼ毎回	0人	0%
4回以上	0人	0%
3回	0人	0%
2回	1人	0.6%
1回	1人	0.6%
0回	35人	21.0%
知らなかった	128人	76.6%
無回答	2人	1.2%
合計	167人	100.0%

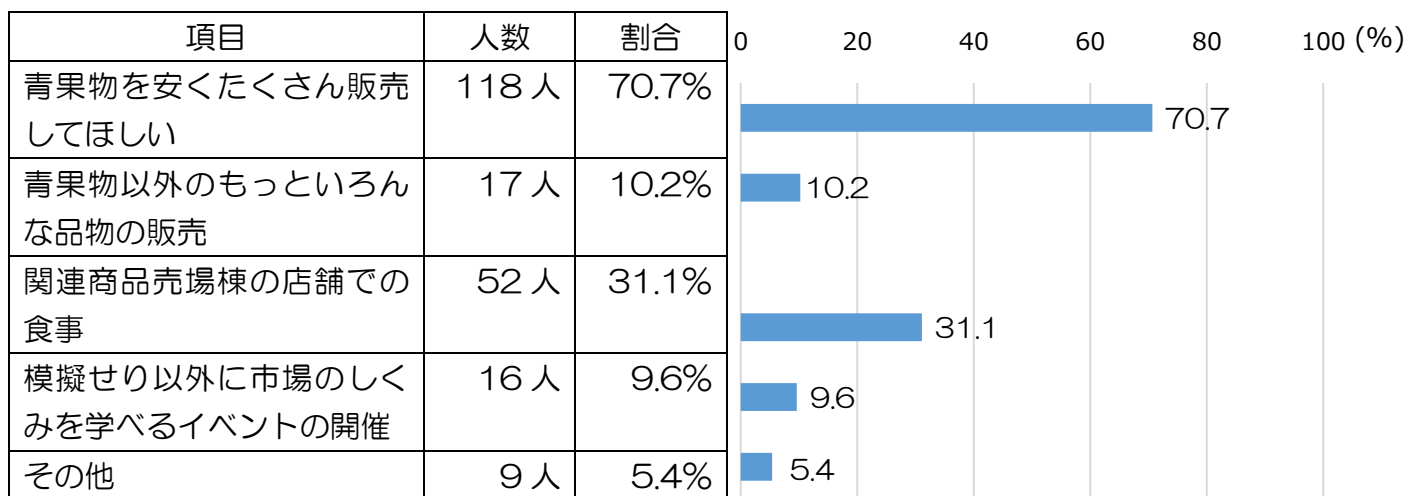


問 18 問 17 で「朝市」に1回でも行ったことがあるとお答えのかたにお尋ねします。朝市のご感想をお聞かせください。

選択肢	回答者数	割合
とても良かった	0人	0%
普通	1人	50.0%
つまらなかった	1人	50.0%
その他	0人	0%
合計	2人	100.0%



問 19 今後の「朝市」の内容について、どのようなことを期待しますか。（複数回答可）



【その他の回答】

- 近くでやってほしい。
- もっと宣伝してほしい。
- 青果物を中心としたお料理を販売してほしい。
- 地理的に厳しいので、いろいろな土地での開催。
- 朝早いので貸し切りバスを運行してもらえたら行ってみたいです。
- 野菜をもっともっと美味しくいただけるメニューの紹介をやってほしい。
- 感謝の気持ちが生まれるため、安だけでなく、農作物を作ることが、どれだけ大変かを多くの人に伝えてほしい。
- ネットでの注文販売発送の販促展開。
- 行ったことがないので分からない。
- 無農薬・減農薬の玄米・野菜の販売。

「朝市」については、知らなかったかた、または行ったことがないかたがほとんどであるという厳しい結果となりました。

「朝市」に行ったことがあるかたは東部地区にお住まいのかたでした。

毎月第2土曜日に開催している「朝市」に、来場する市民のかたは増えていますが、長崎市全体からすると周知不足ということが分かりました。

「朝市」では、模擬せりを開催したり、青果店で青果物を安く販売したりしているほか、関連商品売場棟の店舗では、漬物、卵等その他食料品や生花を販売しており、食堂で食事もできます。

「朝市」は毎月開催しているものの、周知できてないことが、今回の調査ではっきり分かりました。また、「朝市」に期待する意見も多かったことから、今後、「朝市」をもっと魅力あるものにするると同時に、広く知っていただけるよう努める必要があります。